

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・月に1回程度責任者会議を行い、経営理念を明文化し、経営者は会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。 ・従業員は自らの仕事が社会に及ぼす影響や使命を理解し、従事している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令厳守の規定とマニュアルがあり全従業員に向けて発信、共有を行っている。 ・定期的に社内で規定チェックを行う体制を整えている。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・取引先等に対し、不当な値引きやサービスが無いか、供給者評価を行い社内での管理体制を整えている。										10								16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・各事業部、部署ごとの責任者を定めている。 ・人社時の研修の他にも社内ブログでの連携など全従業員が社会に及ぼす影響を把握したうえで、事業活動を行っている。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・商標や著作権などに対する規定を設け、定期的な研修や週に1回の勉強会を実施している。								8.2 8.3	9									16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・機密文書は全て溶解処理し情報漏洩防止を徹底している。																		16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・求人案内利用者やココンラボの消費者に向けて専用の相談窓口を設けている。 ・取引先や顧客に対して定期的なヒアリングを行い、双方向コミュニケーションに取り組んでいる。																	16 17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先の事業内容や事業活動に常に関心を持ち、対話に努め、課題等を理解したうえで求人特集や就職イベントを行っている。					5			8	10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●											9		11		13.1					16 17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・事業において重要な情報財産をクラウド化し、九州圏外のサーバーにも情報を保管・管理。分散化し、災害に備えている。 ・九州各県・東海地方に拠点を構えている利点を活かし、人材・情報財産のリスク分散を図っている。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		・調達時、同品質の商品の場合は積極的にフェアトレード認証の商品を優先するようにしている。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスマントの禁止について就業規則に定めて、男女問わず誰もが相談しやすいよう、それぞれ相談窓口を設定している。 ・雇用・福利厚生・昇進・教育などあらゆる雇用条件及び職場環境において差別しない体制・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・社内で安全衛生委員会を設立し、月1回産業医の協力のもと会議を開催、議事の内容を周知し社員の安全面・衛生面をサポートしている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に問わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・厚生労働省の同一労働同一賃金ガイドラインを理解したうえで、全従業員の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5 10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・パソコンの使用時間を管理し、残業時間の見直しや業務効率化で働き方改革へ取り組んでいる。 ・有給休暇の取得奨励を実施している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修制度の整備や資格取得に対する経費の支援など、資格取得を奨励している。			4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種を会社で取り組んでいる。 ・ゴルフ利用の従業員割引など運動する機会を提供している。 ・社内全館禁煙など禁煙を推進している。			3				8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・自社商品の求人情報誌に「女性活躍ページ」を設け、社会の雇用環境における女性活躍の推進を図っている。 ・性別や年齢などの違いに関係なく、昇進・昇格の機会を設けている。			4.4	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3										16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・在宅ワークの実施や時差出勤、勤務時間帯の見直し、ウェブ会議など、今の時代に合わせた新しい働き方を導入している。			3				8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・求人メディア事業部で紙媒体からweb媒体へ商品の電子化を進めている。 ・各種オンライン説明会を企画、開催している。							8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・2016年にプライト企業の認定を受けている。			3	4			8	9			12							

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物処理によって出る有害物質の削減の為、残餌や、蚕の糞を天空桑園の肥料として活用している。 ・工場排水は法規に従い処理し、環境へ配慮をしている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社用車の使用ガソリン量は徹底し管理している。 ・ゴルフ場コース内のカートの電動化でCO2削減に取り組んでいる。 ・利用者数に応じ、クラブハウスの大浴場の稼働を管理し、電気利用を抑制している。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・温室効果ガスの排出量の算定を行っている。 ・ボイラーの運転時間の管理と季節での設定温度管理で重油使用量を削減している。 ・各事務所内温度を管理しエアコンの稼働を抑制している		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・ゴミの分別、プラスチックのリサイクル、レジ袋などの使用量削減に取り組んでいる。					6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパレス、ゴルフボールのリユース、鉛筆の再利用、裏紙利用などを促進している。							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・機密文書の溶解処理の水は100%リサイクルの水を使用している。 ・ホテル事業部では利用者のニーズに合わせて浴場を稼働し、節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・あつまる山鹿シルクは、環境に配慮した開発を行っており、有機JAS認証を受けている。								9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・ゴルフ場事業部において、食品在庫管理を徹底し無駄のない発注、食品ロスの削減に取り組んでいる。	1	2			6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・あつまるレークカントリークラブ、あつまる阿蘇ゴルフ俱楽部を有しコース内の森林保全に努めている。 ・所有建物の屋上・テラスは可能な限り緑化スペースとして活用促進している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・ゴルフ場のコースに隣接した大規模な太陽光発電でゼロエネルギー化の推進に取り組んでいる。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・山鹿市内の耕作放棄地、遊休農地を、桑園として造成、優良農地として植栽に取り組んでいる。					6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・山鹿市内の耕作放棄地、遊休農地を、桑園として造成、優良農地として植栽に取り組んでいる。					6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復取り組みを行っている。 ・ペットボトルのキャップを集めリサイクルしている。												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・通勤時は公共交通機関の利用徹底している。 ・マイカー通勤者についても、エコカー利用を推奨している。							9.4			11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・電気自動車を1台使用しており、営業活動に伴う移動手段(自動車・バイク)は、引き続き電動・水素自動車への切り替えを行っていく。 ・各事業所責任者定例会議のオンライン化をしている。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1 1 人権 2 経済 3 環境 4 食料・農業 5 健康 6 教育 7 太陽エネルギー 8 経済成長 9 経済社会 10 経済社会 11 経済社会 12 経済社会 13 経済社会 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	2 2 人権 3 経済 4 食料・農業 5 健康 6 教育 7 太陽エネルギー 8 経済成長 9 経済社会 10 経済社会 11 経済社会 12 経済社会 13 経済社会 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	3 3 経済 4 食料・農業 5 健康 6 教育 7 太陽エネルギー 8 経済成長 9 経済社会 10 経済社会 11 経済社会 12 経済社会 13 経済社会 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	4 4 食料・農業 5 健康 6 教育 7 太陽エネルギー 8 経済成長 9 経済社会 10 経済社会 11 経済社会 12 経済社会 13 経済社会 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	5 5 健康 6 教育 7 太陽エネルギー 8 経済成長 9 経済社会 10 経済社会 11 経済社会 12 経済社会 13 経済社会 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	6 6 教育 7 太陽エネルギー 8 経済成長 9 経済社会 10 経済社会 11 経済社会 12 経済社会 13 経済社会 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	7 7 太陽エネルギー 8 経済成長 9 経済社会 10 経済社会 11 経済社会 12 経済社会 13 経済社会 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	8 8 経済成長 9 経済社会 10 経済社会 11 経済社会 12 経済社会 13 経済社会 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	9 9 経済社会 10 経済社会 11 経済社会 12 経済社会 13 経済社会 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	10 10 経済社会 11 経済社会 12 経済社会 13 経済社会 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	11 11 経済社会 12 経済社会 13 経済社会 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	12 12 経済社会 13 経済社会 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	13 13 経済社会 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	14 14 経済社会 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	15 15 経済社会 16 経済社会 17 経済社会	16 16 経済社会 17 経済社会	17 17 経済社会 18 経済社会	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・山鹿シルクでは品質維持のために作成プロセスなどのマニュアルを準備し、苦情など相談窓口の設置も行っている。			3.9							9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・あつまるレーク等の自社施設において誰もが利用しやすいよう段差を無くすなどのバリアフリーを取り入れている。 ・ココンラボは日本語だけでなく英語表記の製品も販売している。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・ゴルフ場で提供する食事は地元の食材を積極的に使用している。	2.3 2.4							7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●									7						12.2	13.1			15	
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・ゴルフ場にてお客様の使用済みボールを回収し、こども食堂設立基金にあてている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●		・養蚕の工業化で持続可能な農業への挑戦とイノベーションを推進している。 ・養蚕の周年無菌大規模プランツを立ち上げ、年間24回蚕を飼育するバイオ产业化を進めている。	2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・ゴルフ場事業部でお客様の使用済みボールを回収し、こども食堂設立基金にあてている。 ・従業員に対して地域での自治活動などを周知している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災・減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・災害などの緊急時にも連絡が取れるよう、緊急電話連絡網の他にメールでの一斉配信が可能な自社の緊急連絡システムを運営している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災・減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・耕作放棄地だった場所に桑を植樹し、地域の災害に対する強靭化に取り組んでいる。 ・地域消防団の活動に7名参加している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・社内各事業部・部署からメンバーを選出しSDGs委員会の設立、社内ブログを使い全社員での内容把握、情報提供を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・大学生のインターンシップを毎年、積極的に受け入れている。 ・小学校、中学校への出前授業、SSHへのサポートに取り組んでいる。			4					8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・地元の学生を積極的に採用している。 ・地場企業の就職合同面談会の開催、熊本大学に県内就職相談室を設置し運営を行うなど地元採用を促進している。				4.4				8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●		・山鹿小学校と鹿北中学校と連携し、養蚕に関する出前授業を行っている。	2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。